

表象メディア論A

May 29, 2018

『映画にとって音とは何か』（Michel Chion, *Le son au cinéma*, Editions de l'Étoile, 1985）川竹英克・ピノン訳、勁草書房,1993, p.33.

インの音については、通常定義を維持することにしよう。

フレーム外の音・・・画面の中ではその音源は同時には見えないが演じられている場面と同一の時間
にあり、画面が示す空間に隣接する空間にあることには変わりがないと想像される音のみを指す。

オフの音・・・画面で示される場面と別の時間／空間にあるふかしの音源に発する音のみを指す（映画音楽、過去の場面を物語るオフのナレーションの声）。

この結果、三つの場合が生じることになる。「視覚化された」音の場合が一つと、前著『映画の声』で用いた用語を使えば、「音だけが聞こえる」場合が二つある。

【鑑賞素材1】ヒッチコック監督『サイコ』（1960）

勤め先の現金を横領して逃走中の女性マリオンは、雨の中、郊外のモーテルに宿泊することにする。そのモーテルの経営者ノーマンは真面目そうな好青年に見えるが、ノーマンが事務所に戻るたびに彼をたえず叱責する老女の声が聞こえる。マリオンは、シャワーを浴びている最中、突然侵入してきた「老女の影」によって刺殺される。

【A】モーテルの事務所における「老女」の声

老女：見も知らない女を連れてくるなんて、私が許しません！

どうせロウソクでも立てて、下品な色情を刺激するんでしょ

青年：母さん、やめてよ

老女：食事の後は音楽？ 内緒話？

青年：そんな相手じゃない、食事だけだよ！

老女：そんな相手じゃない？ 下心はわかってるわよ。そんな話はもうしたくない 考えただけでムカつくわ。

下品な女は連れ込めませんと言いなさい！ 代わりに私が言いましょうか、言う度胸があなたにある？

その後、マリオンは妹の奮闘により警察の捜査を経て、「老女」はすでに死んで白骨化していることがわかる。精神分析医は、ノーマンの2つめの人格が老女の声で老女の台詞を発していたことを解説する。

【B】拘置所におけるノーマンの「老女」の声

息子の非を認めなきゃならない母親はつらいものよ。

でも殺人を犯したのは彼よ、これであの子もやっと片付くわね。

悪い子で、母親の私に殺人罪を着せようとしたの。

ただ剥製の鳥のように座ることしかできない私なのに。私は指一本動かせないの。

疑われると嫌だからじっと座っていきましょう。きっと私は瞠られているわ。

私がどんな人間か見てちょうだい。ハエも打てないの。

見ていてくれるといいわね、そうしたらあの人達こう言うわ・・・「彼女はハエも殺せない」って。

【鑑賞素材2】フレミング監督『風と共に去りぬ』（1939）

南北戦争を背景とする作品で、勝ち気でわがままな美女スカーレットは、人生の随所で富豪レット・バトラーに頼りながらも、幼馴染みアシュレー・ウィルクスへの憧れを捨てられない。映画の最終場面では、レット・バトラーの堪忍袋の緒が切れてスカーレットの元を去る。

登場人物2人（スカーレットとレット・バトラー）の上半身がたえず画面のフレームに映っているので、セリフは「インの音」であるのに対し、バトラーが階段に向かって歩き出す足音は「フレーム外の音」と判断できる。その後2人の会話が続き、スカーレットが泣き崩れた後、かつて父親やアシュレーが、「君に大切なのはタラの農園だ」と言い聞かせた時の声が、彼女の脳裏に響き、スカーレットは希望をとりもどす。

父親やアシュレーの声は、スカーレットの脳裏に響いているであろう声を、リアリティをもって観客に感じさせるための音声である。画面（フレーム）の「現実」においては響いていないという意味で、「非現実の音」なので、これは、バックに流れているテーマ音楽と同様に「オフの音」といえる。

父親の台詞の元場面

タラに意味がないと本気で思っているのか？
土地こそがこの世で価値のある唯一のものだ

アシュレーの台詞の元場面

僕より愛するものが君にはあるんだ タラだ

【鑑賞素材3】 A.G.イニャリトゥ監督『アナ』 Alejandro González Iñárritu, *Anna*

短編集『それぞれのシネマ——カンヌ国際映画祭60回記念製作映画集』（2006／各4分34点）

画面上の登場人物は、アナ（女性）とその隣席（男性）である。しかしながら、上記の1組のカップルの他に、もう1組のカップルの音声が聞こえる。アナとその隣人が鑑賞している映画（ゴダール『軽蔑』）の会話である。しかも、「ANNA」というタイトルの提示前は『軽蔑』の冒頭シーンの会話、提示後は『軽蔑』のラストシーンの会話が流れている。

（1）以下の各台詞について、あてはまる発話者に○をつけなさい。

（2）これを参考に「インの音」「オフの音」「フレーム外の音」のうち、あてはまるものを○で囲みなさい。

君を愛している、完全に、哀しいほどに	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
私もよ、ポール	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
彼とキスするのを見た	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
知ってた	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
僕を愛していないのかい？	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
それが人生よ	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
彼は下に降りる 彼女は裸で海辺に横たわっている	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
それだけは死んでも言えないわ	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
君を5分見てた 初めて見るみたいだ	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
あなたが許せない、好きだったのに もう遅いのよ	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
カミュー！	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
彼女は海に飛びこみ泳いでいった	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外
映画はモノクロ？	() ゴダール映画の女 () アナ	イン オフ フレーム外
違う、カラーだ	() ゴダール映画の男 () アナの隣の男	イン オフ フレーム外

（3）アナの隣席の男性は、なぜ映画の情景を描写していますか？

（4）オーケストラの音楽が2度現れます。1回目（0'50～2'40）と2回目（3'30～3'53）のメロディやハーモニーは同じです。それぞれどのような音ですか。あてはまるものを○で囲みなさい。

1回目（0'50～2'40） イン ・ オフ ・ フレーム外

2回目（3'30～3'53） イン ・ オフ ・ フレーム外

【鑑賞素材4】 C. ルルーシュ『街角の映画館』 Claude Lelouch, *Cinéma de boulevard*
短編集『それぞれのシネマ——カンヌ国際映画祭60回記念製作映画集』（2006／各4分34点）

『男と女』（1966）で知られる映画監督ルルーシュ自身の人生を扱った映画で、「両親の人生をめぐる5つの日付とそれをめぐる映画」という筋立てで進む。

- （1）5つの日付（年代のみでもよい）を書き取りなさい。
（2）それぞれの時期の説明として当てはめられている映画作品を、A-Dの記号で示しなさい。
A.フレッド・アステア主演の『トップ・ハット』（1935）
B.ジャン・ギャバン主演の『大いなる幻影』（1937）
C.カトゾーフ監督の『鶴は飛んで行く（原題：戦争と貞操）』（1957）
D.ルルーシュ監督の『男と女』（1966）

	（1）5つの日付	（2）映画作品
第1の時期		
第2の時期		
第3の時期		
第4の時期		
第5の時期		

（3）5つの日付のうち、当てはまる映画作品がおかれていない場面では、何が映され、何の音がするか、記述しなさい。